

※ 解答は、《解答欄》に書きなさい。

ポイント

- ・ 体験を基に考えたことを、四百字程度にまとめて書く。
- ・ 聞き取ったことを自分の考えと比べるなどして、話し手に質問する。

「聞く力」について学習している和田さんは、次の文章と体験を基に、あとの意見文を書きました。

【文章】

言葉の使われ方は、社会における認識の在り方を反映している。そのことを考えるために、一つ例を挙げてみよう。

話すことに関しては、「話し上手」という言葉に対して、「話し下手」という言葉があり、その両方ともよく使われる。そして、聞くことに関しては、「聞き上手」という言葉に対して、「聞き下手」という言葉があるが、実際に使われることはめったにない。

この「聞き下手」という言葉が、めったに使われないということには、実は①看過できない認識の誤りが隠されている。

話すことに関しては、「話し上手」と「話し下手」の両方ともがよく使われるということは、社会において話すのが上手な人がいて、普通の人がいて、そして下手な人がいると認識されてきたことを意味する。つまり、普通を基準にして、それよりも上手なレベルがあれば、下手というレベルもあると捉えられてきたわけである。

ところが、聞くことに関しては事情が異なる。聞くのが上手な人というのはいるが、聞くのが下手な人というのはいない……「聞き下手」という言い方があまりされないということは、あたかもそうであるかのように認識されてきたということである。この認識においては、聞くのが上手な人以外は、あとはみんな普通のレベルなのである。だから、取り立てて「聞き下手」という言い方は必要ないというわけだ。

これは、とんでもない誤解である。聞くことにも、ちやんと上手もあれば下手もある。話す場合と同様、聞くことにも、すごく上手だというレベルからすごく下手だというレベルまで、様々なレベルがあるのだ。

こういう誤解の根本には、「話すということは努力を要する能動的行為であるが、聞くということは特別の努力を要しない受動的行為だ」という考えがある。

(伊藤進「聞く力を鍛える」による。)

【意見文】

ある日、電車に乗っていたときの事です。

四人の女性が席に座って、しきりに話をしていました。私は、二人ずつに分かれて楽しそうに話す声を、最初は聞くともなしに聞いていました。ところが、あることが気になり始めてからは、聞き耳を②()ようになりました。私が気になったのは、それぞれが「自分の話したいことを話している」ということです。隣同士、会話が弾んでいるのかと思いきや、相手の話を受け止めている様子がなく、一人がある話題について話し終わると、もう一人が別の話題について話し始める。終われば一方がまた別の話をする。そのくり返しです。



先日読んだ、「聞く力」に関する文章には、「聞くことは、話すこと同様、③()を要する」といった内容が書かれていました。その文章中の言葉を借りて、この日の女性たちの聞く力を評すれば、残念ながら、聞くことが「すごく下手だ」ということになるでしょう。

【二ページ】

- 1 【文章】の（ ）の部分には、対義の関係に当たる二字の熟語が二組あります。一つは、「上手」と「下手」です。もう一つはどれとどれでしょうか。文中から抜き出して書きなさい。
- 2 【文章】の――線部①「看過できない認識の誤り」について、筆者が見過すことができないと考えている誤った認識とは、どのようなことでしょうか。「〜という認識。」に続く形で、二十五字以内にとめて書きなさい。
- 3 【意見文】の――線部②（ ）に入る動詞として適切なものを三字で書きなさい。
- 4 【意見文】の――線部③（ ）に入る言葉として適切なものを【文章】の中から二字で抜き出して書きなさい。

和田さんの学級では、聞く力を高めるために、友達の発表を聞いたあと、話し手に質問をする活動に取り組みました。次は、小糸さんが話した内容です。

【小糸さんの発表】

「名月や十三円の家に住む」

これは、文豪 夏目漱石が作った俳句です。

私はこの夏、母の美家のある大分に帰省中、一日だけ、母の友達の住む熊本へと足を伸ばしました。そこで初めて、松山にゆかりの深い漱石が、熊本でも暮らしていたことを知りました。きっかけは、地元テレビ局のレポートでした。

漱石が松山中学で教壇に立っていたのはわずか一年だったということ。その翌年には、第五高等学校、今の熊本大学に講師として招かれていたこと。正岡子規の影響を受け、松山で熟を上げた俳句づくりに、熊本ではいつそう熱心に取り組んだこと。漱石は、熊本で四年あまりを過ごし、その間、引越しを六回も経験していたこと。初めて知ることばかりのレポートでした。

このテレビ番組を見て以来、熊本がとても身近な土地に思えてきました。

- 5 【小糸さんの発表】に対してあなたが質問したいことを、四十字以上、六十字以内にとめて書きなさい。

1

と

2

とじつ認識。

3

4

5

↓から書き込んで。

○

シート 22 正答例

- 1 能動(と)受動
- 2 (例1) 聞くのが上手な人はいるが、聞くのが下手な人はいない(25字)(という認識。)
(例2) 聞くのが上手な人以外は、あとはみんな普通のレベルだ(25字)(という認識。)
- 3 立てる
- 4 努力
- 5 (例) 小糸さんが見たテレビ番組では、漱石と子規の関係について、どのように取り上げていたか、もう少し詳しく教えてください。(59字)